

地域密着型金融推進計画の進捗状況

当金庫は、地域社会の再生・活性化を目指し、地域金融機関としてより一層の機能強化を図るため、平成 17 年度から 18 年度までの 2 年間で重点強化期間とする「地域密着型金融推進計画」を策定し、現在様々な取組みを行っております。平成 17 年 4 月～9 月における「地域密着型金融推進計画」の進捗状況について、主だった事項を下記の通り公表いたします。

地域密着型金融推進計画の進捗状況(平成 17 年 4 月～9 月)

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

(1) 創業・新事業支援機能等の強化

- ・ 創業・新事業支援融資として、金庫独自商品「アロング」及び制度資金を取り扱っており、平成17年度上期の取扱実績は、「アロング」が8件28百万円、その他制度資金等が30件164百万円となっています。新たな事業に取り組まれる法人・個人の皆様のために、各営業店にてお取り扱いしておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。
- ・ 信金キャピタル二号投資事業有限責任組合に出資してベンチャーキャピタル等の支援体制を確立しました。

(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

- ・ 信金キャピタル(株)と正式にアドバイザリー契約を締結しました。同社との連携によりM & Aネットワークを構築して、M & A案件の成約に向けて鋭意取り組んでおります。
- ・ 企業支援室を中心に取引先企業の財務診断を行い、平成17年度上期の財務診断資料提供件数は1,149件となりました。お取引の有り無に関らず無料で財務診断資料を提供させていただいておりますので、各営業店までお問い合わせ下さい。
- ・ 取引先企業の経営改善・支援については、各営業店に新たに支援担当者を置いて支援体制を強化し、取引先の債務者区分の改善を図りました。現在、経営支援を実施している取引先は215先で、うち改善先は22先となっています。大口先については、企業支援室が62先を抽出させていただき順次経営改善支援に取り組んでおります。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

(3) 事業再生に向けた積極的取組み

- ・事業計画書提出を条件とする企業再生・支援融資「サポート」
平成17年4月～9月取扱実績 51件170百万円(発売からの実行累計 657件2,493百万円)

- ・ 中小企業の事業再生に向けた取組みとして、中小企業基盤整備機構・県内金融機関による「埼玉中小企業再生ファンド」の組成への参加と50百万円の出資を決定しました。

(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

- ・ 担保・保証に依存しない融資の推進として、スコアリングモデルの活用による各団体との連携商品や金庫独自商品を新たに開発しご利用いただいております。

無担保第三者保証人不要 企業支援融資「ニューサポート」

17年4月～9月取扱実績 121件2,074百万円(発売からの実行累計534件9,897百万円)

平成17年7月 商工会議所等とのスコアリング連携商品「パートナー」発売

平成17年9月 埼玉県トラック協会との連携商品「埼ト協ディーゼル車特別融資」発売

平成17年9月 法人・個人事業者向けスコアリング連携商品「かわしんアシスト」発売

その他関連商品につきましても、各営業店にてお取り扱いしておりますのでお問い合わせ下さい。

- ・ 売掛債権担保融資の積極的な取り扱いに向けて業界団体の勉強会に参加する一方、各営業店に内容を周知徹底させ推進強化を図りました。平成17年度上期の売掛債権担保融資の取扱実績は15件3百万円となりました。取引先企業の資金調達手法の多様化のため、引続き情報収集や新商品の開発を進めてまいります。

2. 経営力の強化

(1) リスク管理態勢の充実

- ・ 統合的なリスク管理態勢の充実のため、各リスクの関係部署による「リスク管理高度化推進会議」を立ち上げ、平成17年9月に第1回会議を実施しました。今後も毎月継続して実施して、統合的なリスク管理態勢の確立に向けた取り組みの強化を図ってまいります。

- ・ 有価証券運用におけるリスク管理の高度化に向けて新たな分析システムを導入し、市場関連リスクの管理態勢を強化しました。

- ・ 信用リスク管理の高度化のひとつとして、格付・自己査定・償却引当システムの有効的な活用による償却・引当金額の四半期毎の把握を目指し、平成17年6月末現在で償却・引当額を試算しました。

2. 経営力の強化

(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上

- ・ 自己査定並びに償却引当システムにより平成17年6月末現在の引当額を試算するなど、月次決算やALMにおける精度の高い収益状況の分析・把握による収益管理態勢の強化を図りました。

(3) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化

- ・ 平成17年度上期にコンプライアンス態勢チェックリストの全面改正を実施しました。今後も、改正後のチェックリストに基づき全職員の意識高揚を図り、実効性のある法令等遵守態勢を確立してまいります。
- ・ 毎月実施している内部監査に法令等遵守状況に関する項目を新たに取り入れ、またその監査結果を翌月の監査報告会を通じ全役員に報告、今後の対応や改善すべき点等について協議・検討して、金庫内部の法令等遵守態勢の強化を図っております。
- ・ 適切な顧客情報の管理のため、個人情報保護管理部会を中心に、個人情報保護法の運用及び課題解決に向け態勢を強化いたしました。
平成17年5月 集中サーバー設置・ICカード交付等データ漏洩防止へセキュリティを強化
平成17年4月～7月 全職員を対象とした理解度チェックや検査、臨店事務指導等を通じて法令等遵守態勢を整備

3. 地域の利用者の利便性向上

(1) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立

- ・ 当金庫では、本部及び本店営業部において「ISO14001」の認証を取得し、地域の環境保全に取り組んでおりますが、取引先企業における環境関連の資金需要を支援するための各種環境関連金融商品の販売も推進しています。平成17年上半期の取扱実績は「彩の国環境創造資金」2件8百万円、「青空再生低公害車導入資金」6件53百万円、「エコカー購入資金」34件65百万円となっております。各営業店にてお取り扱いしておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。
この他、CS運動の継続推進やインターネットバンキングの取り扱い、ATM利用拡大、変造・偽造カードへの対応等、利便性向上・機能拡充によりお客様の満足度を高める努力をしております。